

陸 上 競 技 の プロ フェッ ショナル

～陸上競技を支えるプロフェッショナルを徹底紹介！～

陸上競技の大会は、たくさんの「縁の下力持ち」によって支えられています。今回は選手みなさんのウェアを企画・デザインされる新坂上朝也さん、藤田恭子さんにお話をうかがいました。レースやトレーニングで良いパフォーマンスを発揮する上でウェアとしての機能はもちろん、モチベーションが上がるようなカッコいいウェア制作について教えていただきました。

文・M高史

**選手の声の商品に生かす！
選手のパフォーマンスを支える
ウェア制作のお仕事をご紹介します！**



No.7

ウェア制作



藤田恭子さん



新坂上朝也さん

株式会社アシックス APEQ統括部プロダクトマネジメント部CPSチーム所属。1990年、千葉県生まれ。生命館大学卒。大学では生命科学部で細胞レベルでの体の仕組みを学びながら、バスケットボール部のトレーナーとしても活動した。入社後、アパレル開発部でスポーツアパレル（主にサッカーやバスケット）のウェア開発を担当。その後現職へ移り、サッカー、バスケット、バレーボール、陸上などの競技ウェア、トレーニング、スポーツスタイルといったアパレルの企画業務を担当している。

株式会社アシックス APEQ統括部デザイン部コアパフォーマンススポーツデザインチーム所属。1982年、大阪府生まれ。神戸芸術工科大学卒。中学3年までは水泳に打ち込む。高校でファッションやデザインなどに興味を持ち、大学ではプロダクトデザインを専攻。車などのインダストリアルデザインを学んだ。2011年に中途入社し、1年後に新設されたアパレルデザインチームへ配属。バレーボール日本代表や実業団チームのウェアを始め、陸上、トレーニング、スポーツスタイルなどさまざまなカテゴリーのウェアデザインを担当している。

解がわからないからこそ、「探求していくおもしろさがある」のだそうです。

制作は発売の1～2年前からスタート！

発売までの制作スケジュールですが、前述のように、店頭に並ぶ1～2年前には動き始めるそうです。藤田さんがその過程を説明してくれました。

「デザインはもちろん、選手が着用するウェアなので、まずは機能面が重要。ですから、選手からのフィードバックを大切にしていますね。選手が実際に着て、良かった点や改善点などをヒアリングし、その中から取捨選択しながら改善していくんです。機能も含めてデザイン、開発、パターンの担当メンバー

とディスカッションしながら進めていきます」

例えばマラソンなら、ちょっと暑い時からすごく寒い時までるように、シーズンによっても機能や求められるものも変わってきます。現場に行き、生の声を直接聞くことの大切さが伝わってきます。

ずっと現場に行っているわけではなく、時期によって1日のスケジュールは変わってきます。

「デザインを描いて、サンプルが上がってきたら、企画の部署、開発、パタンナー（設計図を書く担当）などが集まって会議をします。実際にサンプルを社内外のモデルさんに着てもらったり、自分で着たりして着心地もチェックして、丹念に丁寧に進めていきます」と新

坂上さん。新商品が出る前にサンプルを一番最初に着ることができるのも、やりがいのなっているとか（笑）。

「少しでも選手、ランナーの方の気持ちを知りたい」ということもあって、新坂上さん自身も数年前からランニングを始めました。

「何がいいのか、何が他社と比べて違うのか、走って試しています。何キロ走るか、どれくらいのスピードで走のかなどによっても求められる機能が変わってくるので、実際に走って試しています」

また、藤田さんには1つのウェアができるまでに、どれだけの人が関わっているのかを教えてくださいました。

「ウェア制作にメインで関わるのは企画、開発、デザイン、パターンの4部門なので、担当者4～5人です。でも、そこから生地選定・決定、工場での製作などの過程を含めると、関わる人数は数十人になります。また、世界選手権のようなビッグイベントの時は社を挙げて取り組むため、社内に話を振って、みんなに“自分ごと”にしてもらい、ちょっとした関わってもらおうと思っています」

ウェア制作で大切にしていることは「選手の声を聞く」

達成感を得られる瞬間は「課題を改善できた時」だと言う新坂上さんですが、そのために大切なことがあるそうです。

「いろいろな選手からフィードバックをいただけるのはありがたいです。アスリートからのフィードバックでは、うれしい言葉から時には厳しい言葉もいただきながら、部署



のみんなで共有して、日々改善しています」

藤田さんも、大切にしていることは「とにかく選手の意見を聞くことです」と言います。2人とも選手からのフィードバックに、真摯に向き合うアスリートファーストな姿勢が素晴らしいですね。

最後に、ウェアの可能性や未来について聞きました。

「シューズはパフォーマンスに直接的に影響しますが、アパレルはパフォーマンスと感性に訴えかけます。例えば大会に向けて気分を盛り上げるウェアを作りたいです。オンとオフを切り替えるための演出ができるので、そこに可能性があると感じています。追求していくものは、多様性と時代に合ったもの、そしてフィット感。スポーツ工学研究所と連動しながら、快適なモノづく

りをしていきたいですね。肌あたり、着圧の研究もしていますし、軽さ、涼しさ、着心地、かなりこだわって作っているのですね（新坂上さん）

同じ思いを持っている藤田さんは、加えて「みんながザワザワする、ワクワクするようなものを作りたいですね」と話してくれました。サポートしている選手が良い結果を出した時はもちろん、「選手を見た子供たちから『あのウェアカッコいいよね』』と言ってもらえたらうれしさも倍増です」。将来どんなウェアが登場するのか、これから楽しみです！

選手のパフォーマンスを機能面で支え、モチベーションを高めていく上で大切なウェア。制作に携わるみなさんも日々、現状打破しているんですね！

JAAF大会 Info

～新坂上さん・藤田さんが制作に携わったウェアで、日本代表が活躍する！～

**「オレゴン2022世界選手権」が7月15日（金）～24日
アメリカ・オレゴンで開催！**

大会ページ

<https://www.jaaf.or.jp/wch/oregon2022/>



「ホクレンディスタンスチャレンジ2022」

6月22日（水）20周年記念大会から開幕！



特設サイト オープン！

ライブ配信や
大会に関する情報を
随時掲載！

<https://www.jaaf.or.jp/distance>



年表

～20年の大会を振り返る～

<https://www.jaaf.or.jp/distance/2022/guide/chronology/>



日本グランプリシリーズ特設サイト



<https://www.jaaf.or.jp/gp-series/>

鳥取大会 布勢スプリント2022

＜開催日＞6月25日（土）～26日（日）
＜開催場所＞鳥取県立布勢総合運動公園 陸上競技場

大会ページ

<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1662/>



札幌大会 第35回南部忠平記念陸上競技大会

＜開催日＞7月10日（日）
＜開催場所＞北海道・札幌市厚別公園陸上競技場

大会ページ

<https://www.jaaf.or.jp/competition/detail/1713/>



読者アンケート

回答いただいた方の中から抽選で5名様へ陸連グッズをプレゼント！
今後の掲載内容の参考にさせていただきたいと考えておりますので、ぜひ下記アンケートへのご協力をお願いいたします。
<https://forms.gle/KhoDNRwsxPuZGfkE6>

